

特定保守管理医療機器定義

	JMDN コード	新一般的名称	定義	クラス 分類	設置 該当
359	35723002	位置決定用神経探知刺激装置	神経と手術器具(メス等)との位置関係を監視するため神経を断続的に探知する装置をいう。神経刺激装置と神経の信号活動を記録する受信器から構成される。	II	
360	35723003	神経探知刺激装置	神経と手術器具(メス等)との位置関係を監視するため神経を断続的に探知する装置をいう。筋弛緩剤又は麻酔薬投与量の判定に用いられることがある。神経刺激装置と神経の信号活動を記録する受信器から構成される。	III	
361	37042000	局所麻酔用神経刺激装置	局所麻酔の注射前に身体の一部にある神経の一番適切なところを特定するのに用いる電池電源式の装置をいう。この領域を電流で刺激することによって、筋反射が活性化され、観察することができる。この作用は、麻酔薬の注射後、電流を増大させることによってコントロールすることができるため、筋反射を確認することができる。本品は、物理療法や診断目的にも用いられる。	II	
362	10551000	眼底カメラ	瞳孔を通じて瞳孔を通じて眼底(眼球内部または後極部)を撮影する機器をいう。	II	
363	16419000	眼撮影装置	眼球及び眼底の写真画像(蛍光造影法を行う場合には血管画像)の記録に用いる専用カメラをいう。例示:対物レンズから照明を照らし、眼の位置と合わせ網膜の写真(1秒間隔で)撮影する。眼底の病理を記録し、診断データを提供するために用いる。	II	
364	10960000	コルポスコープ	女性器(膣、子宮頸等)の診察に用いる特殊な顕微鏡をいう。	I	
365	37084000	内視鏡用テレスコープ	機能を果たすためにいくつかの構成部品からなる内視鏡システムのコンポーネントのひとつ。リレーレンズ、光ファイバ、又は電荷結合素子(CCD)チップの画像伝送システムを備えた硬性鏡もしくは軟性鏡から構成される。通常、光源からの光の供給のためファイバケーブルと接続する。本品はシースに挿入されることもある。他の部品との組み立てについては、内視鏡構成部品・シースを参照。自然開口部又は人工開口部を経て体腔・臓器を検査するのに用いる。	II	
366	35020000	軟性十二指腸鏡	十二指腸(近位十二指腸までの上部消化管)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。粘膜、胆嚢、膵臓、胃等の器官を検査する。画像伝送システムには、光ファイバ管束が用いられている。	II	
367	35087000	軟性胃十二指腸鏡	胃から十二指腸の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は体腔に合わせて形状が変化する軟性内視鏡である。画像伝送システムには光ファイバ管束が用いられている。	II	
368	35088000	軟性胃内視鏡	胃の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。口又は胃壁の人工開口部から挿入する。挿入部は軟性であり、画像伝送システムには光ファイバ管束が用いられている。	II	
369	36631000	軟性食道鏡	食道の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は体腔に合わせて形状が変化する。口腔から挿入する。画像伝送システムは、光ファイバ管束である。	II	
370	15057000	軟性S字結腸鏡	大腸から直腸の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は体形状に順応するために軟性で、画像伝送は、光ファイバ管束を備えたファイバスコープである。	II	
371	34966000	軟性大腸鏡	大腸(結腸)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、肛門から挿入する。画像伝送システムには、光ファイバ管束が用いられている。	II	
372	32253000	軟性膵管鏡	膵臓の観察及び診断に用いる内視鏡をいう。画像伝送システムは、光ファイバ管束であり、挿入部は軟性である。通常、十二指腸鏡のワーキングチャンネルに導入し、ファーター乳頭から挿入する。	II	
373	34010000	軟性血管鏡	静脈又は動脈の管腔の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。経皮的に挿入する。本品はファイバスコープであり、光ファイバ管束を経て画像が供給される。	IV	
374	34855000	軟性動脈鏡	冠動脈、末梢血管、心臓内の構造の観察、診断、一部の治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、観察する血管の内部に挿入する。画像伝送システムには光ファイバ管束が用いられている。	IV	
375	34939000	軟性胆道鏡	胆道胆管の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品の挿入部は軟性であり、腹部の切開部から挿入するが、軟性十二指腸鏡から挿入することもできる。本品は光ファイバ管束を利用して画像伝送を行うファイバスコープである。	II	
376	35204000	軟性鼻咽頭鏡	鼻咽頭(鼻の後方にある喉の上部)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は体腔に合わせて形状が変化する軟性内視鏡である。画像伝送システムは、光ファイバ管束である。	II	
377	35461000	軟性気管支鏡	気管支及び肺の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性である。本品は画像伝送光ファイバ管束を備えたファイバスコープである。	II	

特定保守管理医療機器定義

	JMDN コード	新一般的名称	定義	クラス 分類	設置 該当
378	35502000	軟性腎盂鏡	腎臓の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。経皮的に腎盂に挿入する。本品は体腔に合わせて形状が変化する軟性内視鏡である。画像伝送システムは、光ファイバ管束である。	Ⅱ	
379	35980000	軟性膀胱鏡	尿道(上部尿路)からの膀胱の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であるため体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムとして光ファイバ管束を備えるファイバ스코ープである。	Ⅱ	
380	36298000	軟性小腸鏡	小腸の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。小腸の手術時に用いる。プッシュ型(直接視下でガイドによって挿入する)又はゾンデ型(蠕動運動によって本品を腸内に挿入する膨張式バルーンを備える)がある。画像伝送システムには光ファイバ管束が用いられている。	Ⅱ	
381	36624000	軟性クルドスコープ	後腔内蓋からの子宮、卵巣、卵管、骨盤、骨盤腔の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は軟性内視鏡であり、画像伝送システムは光ファイバ管束である。	Ⅱ	
382	36632000	軟性膀胱尿道鏡	膀胱及び男性の尿道(前立腺部を含む)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性である。画像伝送システムは、光ファイバ管束を備えたファイバ스코ープである。	Ⅱ	
383	36639000	軟性胸腔鏡	胸腔の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。肋間腔から体腔内に挿入する。本品は軟性内視鏡であり、画像伝送システムは、光ファイバ管束である。	Ⅱ	
384	36640000	軟性尿管鏡	尿管口の外部からの尿管(腎臓から膀胱への尿の通り道)及び腎盂の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムは、光ファイバ管束を備えたファイバ스코ープである。	Ⅱ	
385	36645000	軟性喉頭鏡	喉頭の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムとして光ファイバ管束を備えるファイバ스코ープである。	Ⅱ	
386	36706000	軟性挿管用喉頭鏡	麻酔又は救急医療等において、気道の確保のため気管(人の気道)への特殊な気管内チューブの挿入と配置を支援するために用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。	Ⅱ	
387	36709000	軟性咽頭鏡	咽頭の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムは、光ファイバ管束を備えたファイバ스코ープである。	Ⅱ	
388	37111000	軟性尿管腎盂鏡	尿管口の外部からの尿管及び腎盂の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムは、光ファイバ管束である。	Ⅱ	
389	37152000	軟性子宮鏡	子宮腔(子宮)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。腔又は子宮頸から挿入する。本品は体腔又は器具の管腔に合わせて形状が変化する軟性内視鏡である。画像伝送システムは、光ファイバ管束である。子宮鏡(uteroscope)ともいう。	Ⅱ	
390	37181000	軟性神経内視鏡	中枢神経系の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。頭蓋に事前に開けた孔から挿入する。本品の挿入部は体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムは、光ファイバ管束である。	Ⅳ	
391	新規fb035	軟性脊髓鏡	脊髓の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。人工開口部から挿入する。本品は挿入部が軟性で、画像伝送システムとして光ファイバ管束を備える。	Ⅳ	
392	新規fb038	軟性腹腔鏡	腹腔や後腹膜腔等の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。腹壁の人工開口部(通常、臍の直下)に挿入する。本品は挿入部が軟性で、画像伝送システムは、光ファイバ管束である。	Ⅱ	
393	新規fb039	軟性口腔鏡	口腔内部を観察するために用いられる。挿入部は軟性で、イメージファイバー等の光学系を備える。	Ⅱ	
394	新規fb041	軟性腰椎鏡	腰の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。人工開口部から挿入する。本品は挿入部が軟性で、画像伝送システムとして光ファイバ管束を備える。	Ⅳ	
395	新規fb043	軟性上顎洞鏡	主として上顎洞の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は軟性内視鏡である。	Ⅱ	
396	新規fb045	軟性涙道鏡	涙道内腔の観察、診断、治療を行う。挿入部は軟性で光ファイバ管束を備える。	Ⅱ	
397	新規fb051	軟性乳管鏡	乳管内の観察、診断、治療に用いる。挿入部は軟性で光ファイバ管束を備える。	Ⅱ	

特定保守管理医療機器定義

JMDN コード	新一般的名称	定義	クラス 分類	設置 該当
398	新規fb054 軟性形成外科用内視鏡	形成外科領域で、皮下組織吸引や再建術等に用いられる。挿入部は軟性で光ファイバ管束を備える。	II	
399	新規fb057 軟性脊椎鏡	脊椎の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。人工開口部から挿入する。挿入部が軟性で、画像伝送システムとして光ファイバ管束を備える。	IV	
400	新規fb060 軟性耳内視鏡	耳科領域、主として中耳内の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は軟性内視鏡である。	II	
401	新規fb004 軟性卵管鏡	卵管の観察、診断、治療や卵子の採取、受精卵の注入等に用いる内視鏡をいう。経腹腔又は膣、子宮頸から挿入する。挿入部は軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムは、光ファイバ管束である。	II	
402	新規fb009 軟性関節鏡	関節(例えば膝関節、肩関節等)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。人工開口部から関節に挿入する。通常、挿入部は軟性で、光ファイバ管束を備える。	II	
403	新規fb011 軟性縦隔鏡	縦隔(胸骨の後ろで、2つの胸膜嚢の間にある胸腔内の空隙)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、光ファイバ画像伝送システムを備える。	II	
404	新規fb013 軟性尿道鏡	尿道の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムは、光ファイバ管束を備えたファイバスコープである。	II	
405	新規fb017 軟性鼻腔鏡	外鼻孔からの鼻腔内の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は光ファイバ管束を備える軟性内視鏡である。	II	
406	新規fb019 軟性副鼻腔鏡	副鼻腔の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は光ファイバ画像システムを備える軟性内視鏡である。	II	
407	17662000 ビデオ軟性気管支鏡	気管支及び肺の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であるため体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムには、電荷結合素子(CCD)が用いられている。	II	
408	17663000 ビデオ軟性胃内視鏡	胃の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。口腔又は胃壁の人工開口部から挿入する。画像伝送システムには電荷結合素子(CCD)が用いられている。通常、挿入部は軟性である。	II	
409	17664000 ビデオ軟性S字結腸鏡	大腸から直腸の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は体形状に順応するために軟性で、画像伝送は、電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	
410	32019000 ビデオ軟性膀胱尿道鏡	膀胱及び男性の尿道(前立腺部を含む)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性である。画像伝送システムは、電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	
411	35462000 ビデオ軟性喉頭鏡	喉頭の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムとして電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	
412	35616000 内視鏡ビデオ画像システム	ビデオ内視鏡から送信されるビデオ画像をディスプレイモニタに表示するシステムをいう。これによって術者及び補助員が処置部を観察できる。通常、ビデオ内視鏡、内視鏡カメラ、カメラコントロールユニット、光源と光源ケーブル、ビデオレコーダ、画像処理装置(カラー補正装置を備えることがある)、視覚的表示装置(医療機器用に製作されたテレビセット等)から構成される。	II	
413	36112000 ビデオ軟性十二指腸鏡	十二指腸(近位十二指腸までの上部消化管)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。粘膜、胆嚢、膵臓、胃等の器官を検査する。画像伝送システムには、電荷結合素子(CCD)が用いられている。	II	
414	36117000 ビデオ軟性大腸鏡	大腸(結腸)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、肛門から挿入する。画像伝送システムには、電荷結合素子(CCD)が用いられている。	II	
415	36283000 ビデオ軟性腹腔鏡	腹腔や後腹膜腔等の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。腹壁の人工開口部(通常、臍の直下)に挿入する。電荷結合素子(CCD)を画像伝送システムとして用いる	II	
416	36299000 ビデオ軟性小腸鏡	小腸の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。小腸の手術時に用いる。プッシュ型(直接視下でガイドによって挿入する)又はゾンデ型(蠕動運動によって本品を腸内に挿入する膨張式バルーンを備える)がある。画像伝送システムには電荷結合素子(CCD)が用いられている。	II	
417	36626000 ビデオ軟性胆道鏡	胆道胆管の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品の挿入部は軟性であり、腹部の切開部から挿入するが、軟性十二指腸鏡から挿入することもできる。画像伝送システムは、電荷結合素子(CCD)チップを利用する。	II	

特定保守管理医療機器定義

	JMDN コード	新一般的名称	定義	クラス 分類	設置 該当
418	38663000	ビデオ軟性腎盂鏡	腎臓の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。経皮的に腎盂に挿入する。本品は体腔に合わせて形状が変化する軟性内視鏡である。画像伝送システムは、電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオである。	II	
419	38666000	ビデオ軟性食道鏡	食道の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。口腔から挿入する。画像伝送システムは、電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオである。	II	
420	38689000	ビデオ軟性尿管鏡	尿管口の外部からの尿管(腎臓から膀胱への尿の通り道)及び腎盂の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムは、電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	
421	38691000	ビデオ軟性咽頭鏡	咽頭の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムは、電荷結合素子(CCD)を備えたビデオスコープである。	II	
422	38703000	ビデオ軟性尿管腎盂鏡	尿管口の外部からの尿管及び腎盂の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムは、電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	
423	38805000	ビデオ軟性胃十二指腸鏡	胃から十二指腸の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は体腔に合わせて形状が変化する軟性内視鏡である。画像伝送システムには、電荷結合素子(CCD)が用いられている。	II	
424	新規fb036	ビデオ軟性脊椎鏡	脊椎の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。人工開口部から挿入する。本品は挿入部が軟性で、画像伝送システムとして電荷結合素子(CCD)チップを備える。	IV	
425	新規fb037	ビデオ軟性挿管用喉頭鏡	麻酔又は救急医療等において、気道の確保のため気管(人の気道)への特殊な気管内チューブの挿入と配置を支援するために用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムとして電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	
426	新規fb040	ビデオ軟性口腔鏡	口腔内部を観察するために用いられる。挿入部は軟性で電荷結合素子(CCD)チップを備える。	II	
427	新規fb042	ビデオ軟性腰椎鏡	腰の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。人工開口部から挿入する。本品は挿入部が軟性で、画像伝送システムとして電荷結合素子(CCD)チップを備える。	IV	
428	新規fb044	ビデオ軟性上顎洞鏡	主として上顎洞の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は軟性のビデオスコープである。	II	
429	新規fb046	ビデオ軟性涙道鏡	涙道内腔の観察、診断、治療を行う。挿入部は軟性で電荷結合素子(CCD)チップを備える。	II	
430	新規fb052	ビデオ軟性乳管鏡	乳管内の観察、診断、治療に用いる。挿入部は軟性で電荷結合素子(CCD)チップを備える。	II	
431	新規fb055	ビデオ軟性形成外科用内視鏡	形成外科領域で、皮下組織吸引や再建術等に用いられる。挿入部は軟性で電荷結合素子(CCD)チップを備える。	II	
432	新規fb058	ビデオ軟性脊椎鏡	脊椎の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。人工開口部から挿入する。挿入部が軟性で、画像伝送システムとして電荷結合素子(CCD)チップを備える。	IV	
433	新規fb061	ビデオ軟性耳内視鏡	耳科領域、主として中耳内の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は軟性のビデオスコープである。	II	
434	新規fb005	ビデオ軟性卵管鏡	卵管の観察、診断、治療や卵子の採取、受精卵の注入等に用いる内視鏡をいう。経腹腔又は膣、子宮頸から挿入する。挿入部は軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムは、電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	
435	新規fb010	ビデオ軟性関節鏡	関節(例えば膝関節、肩関節等)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。人工開口部から関節に挿入する。通常、挿入部は軟性で、電荷結合素子(CCD)チップを備える。	II	
436	新規fb012	ビデオ軟性縦隔鏡	縦隔(胸骨の後ろで、2つの胸膜嚢の間にある胸腔内の空隙)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、電荷結合素子(CCD)チップを備える。	II	
437	新規fb014	ビデオ軟性尿道鏡	尿道の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムとして電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	

JMDN コード	新一般的名称	定義	クラス 分類	設置 該当
438	新規fb016 ビデオ軟性鼻咽鏡	鼻腔から喉頭の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムとして電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	
439	新規fb018 ビデオ軟性鼻腔鏡	外鼻孔からの鼻腔内の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	
440	新規fb020 ビデオ軟性副鼻腔鏡	副鼻腔の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	
441	新規fb021 ビデオ軟性胸腔鏡	胸腔の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。肋間腔から体腔内に挿入する。本品は軟性内視鏡であり、画像伝送システムとして電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	
442	新規fb022 ビデオ軟性血管鏡	静脈又は動脈の管腔の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。経皮的に挿入する。本品はビデオスコープであり、電荷結合素子(CCD)チップから画像が供給される。	IV	
443	新規fb023 ビデオ軟性子宮鏡	子宮腔(子宮)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。膣又は子宮頸から挿入する。本品は体腔又は器具の管腔に合わせて形状が変化する軟性内視鏡である。画像伝送システムは、電荷結合素子(CCD)チップである。子宮鏡(uteroscope)ともいう。	II	
444	新規fb024 ビデオ軟性神経内視鏡	中枢神経系の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。頭蓋に事前に開けた孔から挿入する。本品の挿入部は体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムとして電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	IV	
445	新規fb025 ビデオ軟性膵管鏡	膵臓の観察及び診断に用いる内視鏡をいう。画像伝送システムは、電荷結合素子(CCD)チップであり、挿入部は軟性である。通常、十二指腸鏡のワーキングチャンネルに導入し、ファーター乳頭から挿入する。	II	
446	新規fb026 ビデオ軟性動脈鏡	冠動脈、末梢血管、心臓内の構造の観察、診断、一部の治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であり、観察する血管の内部に挿入する。画像伝送システムとして電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	IV	
447	新規fb027 ビデオ軟性鼻咽頭鏡	鼻咽頭(鼻の後方にある喉の上部)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は体腔に合わせて形状が変化する軟性内視鏡である。画像伝送システムとして電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	
448	新規fb028 ビデオ軟性膀胱鏡	尿道(上部尿路)からの膀胱の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は軟性であるため体腔に合わせて形状が変化する。画像伝送システムとして電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	
449	新規fb029 ビデオ軟性クルドスコープ	後陰円蓋からの子宮、卵巣、卵管、骨盤、骨盤腔の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は軟性内視鏡であり、画像伝送システムとして電荷結合素子(CCD)チップを備えたビデオスコープである。	II	
450	新規Z112 超音波軟性腹腔鏡	腹腔や後腹膜腔等の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。腹壁の人工開口部(通常、臍の直下)に挿入する。本品は挿入部が体腔又は器具の管腔に抵抗する軟性内視鏡である。画像伝送システムは、リレーレンズオプティクスである。画像伝送システムに光ファイバ管束を備え、先端部が湾曲するものもある。	II	
451	15290000 硬性腎盂鏡	腎臓、腎盂、大腎杯、小腎杯の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。経皮的に腎盂に挿入する。挿入部は硬性であり、体腔又は器具の管腔に抵抗する。画像伝送システムは、リレーレンズオプティクスである。画像伝送システムに光ファイバ管束を備えるものもある。	II	
452	17145000 硬性膀胱鏡	尿道(または上部尿路)からの膀胱の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は硬性である。画像伝送システムはリレーレンズオプティクスシステムである。	II	
453	32083000 腎盂鏡検査キット	パックになった用具一式で、腎盂鏡処置時に必要な装置、器具、その他の備品などを含むものをいう。同処置に必要な内視鏡装置を含むものもある。本品は、一部の備品を補充する必要がある場合でも、再使用可能とみなされる。	II	
454	35301000 硬性レゼクトスコープ	前立腺肥大の観察、診断、治療及び特に切除に用いる内視鏡をいう。通常、硬性の外筒、広角の光学視管、ワーキングエレメント、電気手術用ワイヤループ電極から構成される。参照:内視鏡構成部品、<詳細付>	II	
455	35423000 硬性尿道鏡	尿道の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は硬性であり、体腔に抵抗する。リレーレンズオプティクス画像伝送システムを備える。	II	
456	36652000 硬性膀胱尿道鏡	膀胱及び男性の尿道(前立腺部を含む)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は硬性である。	II	
457	36654000 硬性尿管鏡	外尿道口からの尿管(腎臓から膀胱への尿の通り道)及び腎盂の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は硬性であり、体腔に抵抗する。リレーレンズオプティクス画像伝送システムを備える。画像伝送システムに光ファイバ管束を備えるものもある。	II	

特定保守管理医療機器定義

	JMDN コード	新一般的名称	定義	クラス 分類	設置 該当
458	37112000	硬性尿管腎盂鏡	外尿道口からの尿管及び腎盂の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は硬性であり、体腔に抵抗する。リレーレンズオプティクス画像伝送システムを備える。画像伝送システムに光ファイバ管束を備えるものもある。	II	
459	10156002	硬性肛門鏡	肛門管及び下部直腸の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は硬性内視鏡であり、画像伝送システムとしてリレーレンズオプティクスを備える。	II	
460	11858000	硬性胃内視鏡	胃の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。口腔又は胃壁の人工開口部から挿入する。本品は硬性内視鏡である。画像伝送システムは、リレーオプティックレンズシステムである。	II	
461	12291000	硬性腹腔鏡	腹腔や後腹膜腔等の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。腹壁の人工開口部(通常、臍の直下)に挿入する。本品は挿入部が体腔又は器具の管腔に抵抗する硬性内視鏡である。画像伝送システムは、リレーレンズオプティクスである。画像伝送システムに光ファイバ管束を備え、先端部が湾曲するものもある。	II	
462	15058000	硬性S字結腸鏡	大腸から直腸の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は硬性であり、体腔に抵抗する。画像伝送システムは、リレーレンズオプティクスである。	II	
463	15074000	硬性気管支鏡	気管支及び肺の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は硬性であり、画像伝送システムはリレーレンズオプティクスである。	II	
464	15076000	硬性喉頭鏡	喉頭の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は硬性内視鏡であり、画像伝送システムとしてリレーレンズオプティクスを備える。	II	
465	15787000	肛門括約筋鏡	肛門括約筋の検査に用いる内視鏡をいう。	II	
466	32043000	腹腔鏡キット	パックになった用具一式で、腹腔鏡処置時に必要な装置、器具、その他の備品などを含むものをいう。同処置に必要な内視鏡装置を含むものもある。本品は、一部の備品を補充する必要がある場合でも、再使用可能とみなされる。	II	
467	32631000	経腔的硬性羊水鏡	妊婦の子宮頸部を経て胎児の直接観察、診断、治療ならびに羊水の色調及び量の観察に用いる内視鏡をいう。	II	
468	34837000	経腹的硬性羊水鏡	羊膜の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。妊婦の腹壁の人工開口部から羊膜腔に挿入する。	II	
469	34856000	硬性関節鏡	関節(例えば膝関節、肩関節等)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。人工開口部から関節に挿入する。通常、挿入部は硬性である。	II	
470	34979000	硬性クルドスコープ	後腔円蓋からの子宮、卵巣、卵管、骨盤、骨盤腔の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は硬性内視鏡であり、画像伝送システムはリレーレンズオプティクスである。	II	
471	35011000	硬性直達鏡	喉頭の観察及び診断に用いる内視鏡をいう。本品は硬性内視鏡であり、リレーレンズオプティクスを内蔵する。	II	
472	35187000	硬性縦隔鏡	縦隔(胸骨の後ろで、2つの胸膜嚢の間にある胸腔内の空隙)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は硬性であり、リレーレンズオプティクス画像伝送システムを備える。画像伝送システムに光ファイバ管束を備え、先端部が湾曲するものもある。	II	
473	35200000	硬性脊髓鏡	脊髓の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。人工開口部から挿入する。本品は挿入部が体腔に抵抗する硬性内視鏡である。画像伝送システムとしてリレーレンズオプティクスを備える。画像伝送システムに光ファイバ管束を備えるものもある。	IV	
474	35205000	硬性鼻咽頭鏡	鼻咽頭(鼻の後方にある喉の上部)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は挿入部が体腔又は器具の管腔に抵抗する硬性内視鏡である。リレーレンズオプティクス画像伝送システムを備える。	II	
475	35233000	硬性骨盤鏡	骨盤の観察及び診断に用いる内視鏡をいう。人工開口部から経皮的に挿入する。本品はリレーレンズオプティクスを備える硬性内視鏡である。	II	
476	35255000	硬性直腸鏡	直腸及び肛門の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は硬性内視鏡であり、先端にリレーレンズオプティクス及び照明器を備えた空中鏡を内蔵する。	II	
477	35316000	硬性鼻腔鏡	外鼻孔からの鼻腔内の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品はリレーレンズオプティクスを備える硬性内視鏡である。	II	
478	35398000	硬性胸腔鏡	胸腔の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。肋間腔から体腔内に挿入する。本品はリレーレンズオプティクス画像システムを備える硬性内視鏡である。画像システムに光ファイバ管束を備え先端部が湾曲するものもある。	II	

特定保守管理医療機器定義

	JMDN コード	新一般的名称	定義	クラス 分類	設置 該当
479	35568000	硬性腰椎鏡	腰の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。人工開口部から挿入する。本品は挿入部が体腔に抵抗する硬性内視鏡である。画像伝送システムとしてリレーレンズオプティクスを備える。画像伝送システムに光ファイバ管束を備えるものもある。	Ⅳ	
480	36628000	硬性子宮鏡	子宮腔(子宮)の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。膣又は子宮頸から挿入する。本品は挿入部が体腔又は器具の管腔に抵抗する硬性内視鏡である。画像伝送システムは、リレーレンズオプティクスである。子宮鏡(uteroscope)ともいう。	Ⅱ	
481	36637000	硬性鼻咽喉鏡	鼻腔から喉頭の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品はリレーレンズオプティクスを備える硬性内視鏡である。	Ⅱ	
482	36647000	硬性上顎洞鏡	主として上顎洞の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は硬性内視鏡である。	Ⅱ	
483	36653000	硬性食道鏡	食道の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は硬性であり、体腔に抵抗する。画像伝送システムは、リレーレンズオプティクスである。本品は旧来の技術を反映しており、現在では軟性食道鏡が使用されている。	Ⅱ	
484	36708000	硬性咽頭鏡	咽頭の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。挿入部は硬性であり、画像伝送システムは、リレーレンズオプティクスである。	Ⅱ	
485	36903000	硬性鼓膜鏡	耳道(耳の開口部から鼓膜の間の管)の観察、診断、治療に用いる非常に短い内視鏡をいう。通常、本品は硬性である。耳の開口部から観察する通常の耳科検査については、耳鏡を参照。	Ⅱ	
486	36904000	硬性神経内視鏡	中枢神経系の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。頭蓋に事前に開けた孔から挿入する。本品の挿入部は硬性である。画像伝送システムは、リレーレンズオプティクスで、光ファイバ管束を備えるものもある。	Ⅳ	
487	36906000	硬性アデノスコープ	アデノイド除去時等に、鼻腔の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は硬性内視鏡である。	Ⅱ	
488	37180000	硬性副鼻腔鏡	副鼻腔の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品はリレーレンズオプティクス画像システムを備える硬性内視鏡である。光ファイバ管束を備えるものもある。	Ⅱ	
489	37182000	手術用直腸鏡	特殊な直腸鏡チューブを用いて、肛門経由で下部腸管の顕微鏡的処置、治療(経肛門内視鏡顕微手術(TEM))に用いる用具をいう。硬性内視鏡システムであり、光学観察テレスコープの他に、観察部位を膨張させるためにガスを送入する設備及び専用の手術器具を含む。	Ⅱ	
490	37183000	筋膜下切除術用内視鏡	内視鏡的穿孔静脈筋膜下切除術(ESDP)等の静脈瘤の治療に用いる専用の装置をいう。人工開口部から穿孔静脈の外側に沿って経皮的に挿入し、次いでカテーテルを挿入する。挿入部が体腔又は器具の通路に抵抗する硬性内視鏡である。用いられる画像伝送システムは、リレーレンズオプティクスの1つである。	Ⅱ	
491	新規fb047	硬性涙道鏡	涙道内腔の観察、診断、治療を行う。挿入部は硬性でリレーレンズオプティクスまたは光ファイバ管束の画像伝送システムを備える。	Ⅱ	
492	新規fb053	硬性乳管鏡	乳管内の観察、診断、治療に用いる。挿入部は硬性でリレーレンズオプティクスまたは光ファイバ管束の画像伝送システムを備える。	Ⅱ	
493	新規fb056	硬性形成外科用内視鏡	形成外科領域で、皮下組織吸引や再建術等に用いられる。挿入部は硬性でリレーレンズオプティクスまたは光ファイバ管束の画像伝送システムを備える。	Ⅱ	
494	新規fb059	硬性脊椎鏡	脊椎の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。人工開口部から挿入する。挿入部が硬性で、画像伝送システムとしてリレーレンズオプティクスを備える。画像伝送システムに光ファイバ管束を備えるものもある。	Ⅳ	
495	新規fb062	硬性耳内視鏡	耳科領域、主として中耳内の観察、診断、治療に用いる内視鏡をいう。本品は硬性内視鏡である。	Ⅱ	
496	新規fb003	硬性卵管鏡	卵管の観察、診断、治療や卵子の採取、受精卵の注入等に用いる内視鏡をいう。経腹腔又は膣、子宮頸から挿入する。挿入部は硬性であり、体腔に抵抗する。リレーレンズオプティクス画像伝送システムを備える。光ファイバ管束の画像伝送システムを備えるものもある。	Ⅱ	
497	新規fb030	硬性口腔鏡	口腔内部を観察するために用いられる。挿入部は硬性でリレーレンズオプティクス、イメージファイバー等の画像伝送システムを備える。	Ⅱ	
498	新規w003	眼科用内視鏡	眼球および眼球の附属器官に用いる内視鏡をいう。	Ⅱ	